

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	伊丹市立天神川小学校 教諭 勝野 律子	研究グループ名 学びあう授業づくりチーム	12
-----------------	------------------------	-------------------------	----

研究テーマ分類番号 ( 18 )

(1) 研究テーマ
聴き合い、学び合う子をめざして
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>6月26日            2年 国語科 「スイミー」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実施場所及び人数：伊丹市立天神川小学校 教室及び会議室            8人</li><li>・講師：元小学校校長</li><li>・成果<ul style="list-style-type: none"><li>①音読をペアでさせた時の雰囲気が良かった。相手の読みをしっかりと聞こうとする姿が見られた。</li></ul></li><li>・課題<ul style="list-style-type: none"><li>①普段の授業でペアやグループ学習の機会を多く設けていくことが大切であることがわかった。</li><li>②挙手している児童ばかりに発表させるのではなく、手を挙げていない児童に意図的に指名することも必要である。</li><li>③低学年では、文章だけでなく、挿絵からもイメージを広げるとより物語を読み深めることができる。</li></ul></li></ul> <p>10月15日            3年 国語科 「わすれられないおくりもの」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実施場所及び人数：伊丹市立天神川小学校 教室及び会議室            8人</li><li>・講師：元小学校校長</li><li>・成果<ul style="list-style-type: none"><li>①ペアやグループでの話し合いを通して、授業に参加できる児童が多かったのがよかった。</li></ul></li><li>・課題<ul style="list-style-type: none"><li>①児童は語彙が少ないため、発表の言葉の表面のみを受け取るのではなく、教師がしっかり児童の伝えたいことを受け止めていくことが大切であることがわかった。</li><li>②グループの時間を長くすればいいということではない。子どもたちの様子を見て、全体での話し合いにしていく。</li></ul></li></ul> <p>12月5日            1年 国語科 「たぬきの糸車」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実施場所及び人数：伊丹市立天神川小学校 教室及び会議室            7人</li><li>・講師：元小学校校長</li><li>・成果<ul style="list-style-type: none"><li>①たどたどしいが、一生懸命読もうとしている音読が大変よかった。</li></ul></li><li>・課題<ul style="list-style-type: none"><li>①動作化は文章からはなれてしまい、物語の読みでなくなる。子どもから自然にできる動作化を教師が見逃さずに受け止めていくことが大切である。</li></ul></li></ul> <p>1月22日(木)(予定)    5年 国語科 「わらぐつの中の神様」</p>